

自宅（松戸市）のそばにある高さ約 30 メートルの大きな建築物です。地元では昔から『給水塔』と呼ばれてきましたが『栗山配水塔』が正式名称で、昭和 12 年の建設です。現在でも隣接する栗山浄水場の水を汲み上げ、松戸および市川の 20 万世帯の上水道を賄っています。周りを見渡すと確かに最も高台にあり、当時から効率よく配水できたのでしょうか。平成 18 年には社団法人土木学会から土木遺産の認定を受けました。とてもスマートなデザインで地元の景観にも一役買っています。



青い鳥こどもクリニック
引田 満

